

株式会社 金田建設



地域とともに成長

この見たことのない大きな船は、フローティングドックと呼ばれる防波堤を作るための作業船。この特殊な船を乗りこなし、海の工事が得意という独自の強みを持つのが「株式会社金田建設」です。隠岐の島を拠点として、土木工事・建築工事・建築リフォーム工事など幅広く手掛けています。建設物はもちろんのこと、防波堤や海上での橋の建造など特殊な工事を得意とすることから、県外からも仕事の依頼が舞い込んでくるそうです。そんな金田建設では、働きやすい環境づくりについて日々試行錯誤を重ねているところ。趣味の時間を大切にしたり、気持ちに余裕を持ちながら働ける環境を目指しているそうで、休みの日には離島ならではのゆっくりとした時間を過ごせます。もちろん現場に朝早くから行くことも、夜遅くまで残らなければいけないこともあるでしょう。それでも、みなさんの話を聞いていると、自然体で楽しみながら、気持ちよく働いている様子が想像できました。年齢や経験に縛られず、ありのままでいられる社内の雰囲気は、金田建設が持つ何よりの魅力だと思います。



no 22

Writer : Nakano Kaho



信頼される「ものづくり」

代表取締役 金田隆徳さん

金田建設は、建設業界の中でも珍しく、海の工事が得意な会社です。私たちの強みは、海上工事に使用される様々な作業船を自社で保有していることと、その作業船の能力を最大限引き出す技術力の高さです。全国的に見ても、これほどの設備が揃っている会社は少ないと思いますよ。海の工事の依頼は、全国からお声がかかるので、今後は県外にも積極的に事業を拡大させて行きたいです。その上で、「クレームから逃げない」ということを大切にしています。建築物は年月が経てばどうしても悪いところが出てきてしまいます。そういった時にも目の前の問題から逃げず、きちんと対処をしていく。建てるだけで終わりにせず、その後のフォローを大切にしています。その姿勢を評価していただき、お客様からも信頼していただいているんだと思います。建設業の醍醐味は「ものづくりの楽しさ」です。ましてや、土木工事や建築工事は同じものを作らないので、毎回違うものに携われるのが面白いところです。特に私たちの得意とする分野は珍しいですから、他の建設会社では経験できないことがたくさんあると思います。



Interview

社員さんインタビュー



土木部船舶班 野津さん〈入社10年目〉

大型クレーンを運転する機会が多いのですが、操作を誤ると人にケガさせてしまう可能性があるため、責任感と緊張感を持って作業に取り組んでいます。仕事で大切なのは、何か分からないことがあったらすぐ聞くこと。知ったふりをしていると、大変なことになりますからね。年上相手でも年下相手でも分からないことは、分かるまで聞くように意識しています。この職場は先輩方も気さくに声をかけてくれる、風通しの良い職場です。



土木部船舶班 松浦さん〈入社6年目〉

船舶班では、船の操縦が主な仕事です。入社前は正直、肉体労働がメインだと思っていたのできつそうなイメージでしたが、実際の作業はほとんど機械で行うので、機械の操作が多いですね。いろんな機械や船の操縦ができるのが楽しいです。ちなみに、機械の操縦などに必要な資格や免許は入社後に取れるので安心してください。この会社は業務内容が幅広く、いろんな経験を積めるので、その中できっとあなたのやりたい仕事が見つけれられると思います。



建築部 小笹さん〈入社3年目〉

建築部で家を建てています。一軒建てるのに大体6ヶ月かかるのですが、地道に作業を重ねたものが完成した時はやっぱり嬉しいです。限られた期限の中でも「これでいいか」ではなく「これで完璧だ」と自分で納得できるくらいまで妥協せずにこだわりを持って仕事をしています。

Company Data

業種：港湾工事・一般土木工事・一般建築工事・木造住宅新築工事・リフォーム工事
 設立：1951年
 従業員数：79名（2019年11月21日現在）
 代表：金田隆徳
 【本社】隠岐郡隠岐の島町港町大津ノ二・13番地4
 【松江支店】島根県松江市学園一丁目7番30号インフィニティ1F
 【鳥取営業所】鳥取県鳥取市南吉方2丁目8番地
<http://www.gr-kaneda.co.jp/index.html>



◀MACHI TERASUのWEBページ